

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業関係

(1) 「健康上十三21」の推進について

上十三地域においては、「健康日本21」「健康あおもり21」を受け、早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、「栄養・食生活」「こころの健康づくり」「たばこ」「アルコール」に重点をおいた「健康上十三21」を策定し、平成14年度より推進してきた。計画最終年の平成24年度に行った最終評価では、全体の51%が目標達成、改善傾向となっている中、こころの健康づくりに課題が残っている。

「健康上十三21(第2次)」では第1次計画の最終評価と当地域の課題を踏まえ、「自殺予防」の推進と「喫煙防止」「肥満予防」を柱とした生活習慣病予防対策を推進することとしている。

(2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会や研修会、会議等を通して、市町村計画への支援を行った。

(3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

全市町村の健康づくり推進協議会等の委員として保健所長が委嘱され、担当職員等と共に各市町村の推進協議会等へ出席し、市町村の健康課題及び対策について把握し、保健活動の推進に向け支援を行った。

市町村名	期 日	会 議 名	出 席 者
十和田市	平成26年6月25日	生涯健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
	平成26年9月30日	こころの健康づくり部会	精神保健担当者
	平成26年10月23日	市民健康部会	欠席
	平成27年2月25日	母子保健部会	母子保健担当者
三 沢 市	平成27年2月10日	健康推進対策協議会	健康増進課長、地区担当者
	平成27年3月17日	歯の健康づくり推進委員会	歯科保健担当者
野辺地町	平成26年5月30日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成26年11月17日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
七 戸 町	平成27年2月12日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者
六 戸 町	平成26年7月28日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
	平成27年3月19日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
横 浜 町	平成26年7月10日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成26年12月1日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
東 北 町	平成26年11月27日	心の健康づくり推進協議会	健康増進課長、精神保健担当者
	平成26年12月19日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
六ヶ所村	平成26年5月26日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成26年8月21日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成27年3月26日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康づくり事務担当者

(4) 喫煙対策推進事業

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発を図り、「健康あおもり21」（たばこ領域）の基本指針及び行動目標を実現することを目的に、防煙・禁煙教室、受動喫煙防止対策推進のための研修会や空気クリーン施設の登録を行った。

ア 防煙教室・禁煙教室実施状況

開催回数	期日	場所	内容	講師名	対象参加者数
1	平成26年 7月4日	(社)労働 基準協会	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 青森県の健康課題 	健康増進課技師 柴田 早紀 郡川 愛	七戸貨物(株)天間 林砕石場職員等 16名
2	平成26年 7月18日	十和田労働 基準監督署	空気クリーン施設認 証制度について	健康増進課主幹 松坂 育子	小売業に係る労働災 害防止対策説明会参 加者20名
3	平成26年 7月23日	特別養護 老人ホーム 一葉園	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 青森県の健康課題 喫煙と受動喫煙 空気クリーン施設認 証制度 	健康増進課主査 大柳 友子	特別養護老人ホーム 一葉園職員 15名
4	平成26年 7月28日	田村モータ ース事務所	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 青森県の健康課題 喫煙と受動喫煙 空気クリーン施設 認証制度 	健康増進課主幹 松坂 育子	田村モーターズ職員 12名
5	平成26年 10月6日	十和田市民 文化センター	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 青森県の健康課題 喫煙と受動喫煙 空気クリーン施設 認証制度 	健康増進課技師 船渡 めぐみ 郡川 愛	東北森林管理局三八 上北森林管理署職員 等52名
6	平成26年 10月6日	青森県立 野辺地 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 青森県の健康課題 喫煙と受動喫煙、未 成年の喫煙 空気クリーン施設 認証制度 	健康増進課技師 船渡 めぐみ 郡川 愛	青森県立野辺地高等 学校 1学年生徒120名、 教員5名
7	平成26年 10月18日	六ヶ所村 文化交流 センター スワニー	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 青森県の健康課題 喫煙と受動喫煙 空気クリーン施設 認証制度 	健康増進課長 瀬川 節子	国際ロータリークラ ブ会員80名

8	平成 26 年 10 月 23 日	七戸中央 公民館	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 青森県の健康課題 喫煙と受動喫煙 空気クリーン施設 認証制度 	健康増進課技師 船渡 めぐみ 相坂 知里	上十三地域婦人団体 連合会員 200 名
9	平成 26 年 11 月 9 日	介護老人 保健施設 のへじ	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 青森県の健康課題 喫煙と受動喫煙 空気クリーン施設 認証制度 	健康増進課長 瀬川 節子 健康増進課技師 工藤 梓	介護老人保健施設の へじ文化祭り参加者 及び施設職員 60 名
10	平成 27 年 1 月 23 日	野辺地町 役場	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙と受動喫煙 空気クリーン施設 認証制度 	健康増進課技師 郡川 愛	喫煙する職員他 40 名
11	平成 27 年 1 月 29 日	野辺地町 役場	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙と受動喫煙 空気クリーン施設 認証制度 	健康増進課技師 郡川 愛	喫煙する職員他 20 名
12	平成 27 年 3 月 7 日	三沢市 公会堂	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 青森県の健康課題 喫煙と受動喫煙、未 成年の喫煙 空気クリーン施設 認証制度 	健康増進課技師 船渡 めぐみ 柴田 早紀	医師、歯科医師、小 中学校長等学校関係 者 45 名

イ 世界禁煙デー・禁煙週間等における取組状況

事業名	テーマ	対象参加者数	内容	講師
世界禁煙デー・禁煙週間の取組	受動喫煙防止対策、禁煙、空気クリーン施設について	上北地域県民局職員、来庁者 (71名)	1. キャンペーンの実施 ・県合同庁舎で職員、来庁者に対し喫煙モデル展示、資料配布、受動喫煙や禁煙について個別説明。 ・放送実施(2回)、ポスター、リーフレット掲示 ・上北地域県民局職員に対し、喫煙防止普及啓発リーフレットを作成しメール送信 2. ポスター掲示(保健所庁内、県合同庁舎内) 3. 上北地域県民局所属庁舎の受動喫煙対策を確認し、受動喫煙対策や空気クリーン施設推進事業について説明	
親と子のよい歯のコンクール	受動喫煙防止対策、禁煙、空気クリーン施設について	来場者、参加者(45名)	受動喫煙防止対策と、空気クリーン施設推進事業の普及啓発のパンフレット配布、関連資料掲示	
給食施設栄養管理指導事業研修会	受動喫煙防止対策及び空気クリーン施設推進事業について	給食施設調理従事者等(254名)	受動喫煙防止対策と、空気クリーン施設推進事業の普及啓発のパンフレット等配布、説明	健康増進課 技師 船渡 めぐみ 柴田 早紀
給食施設巡回	受動喫煙防止対策及び空気クリーン施設推進事業について	給食施設巡回対象施設(45施設)	受動喫煙防止対策と、空気クリーン施設推進事業の普及啓発のパンフレット等配布、説明	
管内市町村健康づくり推進協議会等会議	受動喫煙防止対策及び空気クリーン施設推進事業について	会議及び研修会参加者(約200名)	受動喫煙防止対策と、空気クリーン施設推進事業の普及啓発のパンフレット配布、説明	

ウ 健康あおもり推進隊『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』・『空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者、タクシー会社管理者に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に、「空気クリーン施設」の登録制度の普及を促進した。（平成27年3月末現在で338施設登録）

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況 (平成27年3月末)

*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	5	5	20	40	4		5		6		4	7	96
三沢市	6	3	8	20		4	2		4		2		49
野辺地町	2	7	10	11		5	1				1		37
七戸町	7	8	15	13	3	7	5		1		12		71
六戸町	3	3	9	5	1	4			2		2		29
横浜町	2	5	9	5		1			2				24
東北町	3		6	4	2				1		2	1	19
六ヶ所村	1		7	2	1		2						13
合計	29	31	84	100	11	21	15	0	16	0	23	8	338

*施設種別：1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所
8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー車輛

*喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、禁煙のみとなった（分煙は認めず）。

*青森県のタクシーは、平成22年7月1日から全面禁煙となった。

(5) 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健康づくりの推進に役立てることを目的に研修会、役員会を実施した。

ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期日	場所	内容	参加者数
1	平成26年 6月9日(月)	上十三保健所	1 平成25年度事業実施状況について 2 平成26年度事業計画について 3 情報交換	保健協力員 8名 市町村職員 9名 保健所職員 2名

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数
2	平成 26 年 8 月 4 日 (月)	上十三保健所	1 平成 26 年度合同研修会について 2 各市町村活動の報告及び情報交換 3 情報交換	保健協力員 8 名 市町村職員 8 名 保健所職員 2 名
3	平成 27 年 3 月 3 日 (火)	上十三保健所	1 平成 26 年度事業実施状況について 2 平成 27 年度事業計画について 3 情報交換	保健協力員 8 名 市町村職員 8 名 保健所職員 2 名

イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会総会及び研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 26 年 9 月 26 日 (金)	三沢市公会堂	< 総会報告 > 1 平成 26 年度事業報告及び決算報告 2 平成 27 年度事業計画及び予算案	保健協力員 87 名 市町村職員 14 名 保健所職員 4 名
		< 研修会 > 1 活動紹介 ・野辺地町保健協力員協議会 ・東北町保健協力員協議会 2 講義及び演習 「心を動かす健(検)診のススメ」 講師：在宅保健師の会 新井山洋子氏	

ウ 管内市町村保健協力員数

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十和田市	216	六戸町	77
三沢市	112	横浜町	63
野辺地町	96	東北町	174
七戸町	180	六ヶ所村	69
		計	987 名

2 母子保健事業関係

(1) 療育相談（肢体不自由児等）

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を保健所内で年12回実施した。 (平成26年度)

市町村名	相談人員	再 掲		
		要治療	治療不要	経過観察
十和田市	29 (6)	5 (1)	3 (0)	21 (5)
三沢市	32 (8)	4 (2)	3 (0)	25 (6)
野辺地町	4 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)
七戸町	4 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
六戸町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
横浜町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
東北町	7 (4)	2 (0)	0 (0)	5 (4)
六ヶ所村	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
管 外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	76 (18)	14 (3)	7 (0)	55 (15)

() は新規利用者再掲

(2) 長期療養児療育相談指導事業（小児慢性特定疾病児童等自立支援事業）

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児慢性特定疾患医療受診券交付時面接や訪問、医療意見書に指示がある児の状況把握等を行い、支援強化を図った。

(平成26年度)

事業内容	専門医による相談		保健師による相談指導		
	小児慢性 特定疾患	未 熟 児	家庭訪問	随時相談	電話相談
相談件数	0	0	4	33	35

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業（小児慢性特定疾患医療費助成事業）

長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に活かすことを目的とした制度である。平成27年1月1日から制度改正となり、対象疾病は11疾患群から14疾患群に追加・整理された。

(平成26年度)

	区 分	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	計
01	悪性新生物	3	5	1	2	1		2		14
02	慢性腎疾患	3	6	1	1	1		3	2	17
03	慢性呼吸器疾患		2							2
04	慢性心疾患	11	13	4	4			5	2	39
05	内分泌疾患	13	8		5	4	1	2	5	38
06	膠原病	4	2	1						7
07	糖尿病	4	2					2		8
08	先天性代謝異常	1	1					1		3
09	血液疾患	2			1	2				5
10	免疫疾患	1	4	1		1			1	8
11	神経・筋疾患	3				1				4
12	慢性消化器疾患							1		1
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群									0
14	皮膚疾患									0
	計	45	43	8	13	10	1	16	10	146

(4) 小児慢性特定疾患児手帳（ひまわり手帳）交付事業

小児慢性特定疾患の対象児童に対し、緊急の連絡先等を記載する手帳（ひまわり手帳）を交付している。

（平成26年度）

疾患名	件数
悪性新生物	1
慢性腎疾患	2
慢性呼吸器疾患	0
慢性心疾患	2
内分泌疾患	3
膠原病	5
糖尿病	2
先天性代謝異常	1
血友病等血液・免疫疾患	1
神経・筋疾患	0
慢性消化器疾患	0
計	17

(5) 管内市町村妊婦連絡票実施状況

(平成26年度)

市町村名	妊娠届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B/A)	妊婦保健指導報告書発行数 C (C/B)	指導週数別				指導方法別				要連絡・指導 妊産婦連絡票 L	内訳		妊婦連絡票の提出はないが、保健指導を実施した数 O (O/A)
				～11週	12～19週	20～27週	28週～	窓口	訪問	電話	その他		妊婦 m (m/L)	産婦 n (n/L)	
				d (d/C)	e (e/C)	f (f/C)	g (g/C)	h (h/C)	i (i/C)	j (j/C)	k (k/C)				
十和田市	418	416 (99.5)	416 (99.5)	359 (86.3)	52 (12.5)	1 (0.3)	4 (1.0)	416 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	22	2 (9.1)	20 (90.9)	2 (0.5)
三沢市	404	392 (97.0)	392 (97.0)	367 (93.6)	24 (6.1)	1 (0.3)	0 (0.0)	392 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	47	9 (19.1)	38 (80.9)	12 (3.0)
野辺地町	70	70 (100.0)	70 (100.0)	65 (92.9)	4 (1.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	70 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	11	2 (18.2)	9 (81.8)	0 (0.0)
七戸町	73	73 (100.0)	73 (100.0)	64 (87.7)	8 (11.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	73 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3	0 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)
六戸町	71	71 (100.0)	71 (100.0)	64 (90.1)	7 (9.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	70 (98.6)	0 (0.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	10	1 (10.0)	9 (90.0)	0 (0.0)
横浜町	20	20 (100.0)	20 (100.0)	19 (95.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
東北町	126	124 (98.4)	124 (98.4)	104 (83.9)	18 (14.5)	1 (0.8)	1 (0.8)	124 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	19	1 (5.2)	18 (94.7)	2 (1.6)
六ヶ所村	80	79 (98.8)	79 (98.8)	73 (90.4)	4 (5.1)	2 (2.5)	0 (0.0)	79 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6	1 (16.7)	5 (83.3)	1 (1.3)
計	1,262	1,245 (98.7)	1,245 (98.7)	1,115 (92.4)	118 (9.5)	6 (0.5)	6 (0.5)	1,244 (99.9)	0 (0.0)	1 (0.08)	0 (0.0)	118	16 (13.6)	102 (86.4)	17 (1.3)

()は%

(6) 管内市町村未熟児情報共有システム実施状況

(平成26年度)

	低出生体重児数		未熟児等出生連絡票受理数	出生時体重					在胎週数			未熟児等訪問指導連絡票発行数
	未熟児育療申請数	熟養医申請数		1000g未満	1000～1500g未満	1500～2000g未満	2000～2500g未満	2500g以上	妊娠22～34週未満	妊娠34～37週未満	妊娠37週以上	
					0	0	1		2	0	0	
十和田市	26	3	8	1	0	2	4	1	3	4	1	7
三沢市	34	19	26	2	2	6	10	6	7	11	8	25
野辺地町	4	3	7	0	0	1	2	4	2	1	4	7
七戸町	8	3	3	0	0	1	2	0	0	2	1	3
六戸町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北町	6	2	5	0	0	2	1	2	2	1	2	4
六ヶ所村	10	4	4	0	0	2	2	0	0	4	0	4
合計	92	34	53	3	2	14	21	13	14	23	16	50

(7) 母子保健ネットワーク会議等 —妊産婦支援体制整備事業—

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点から、地域養育支援体制を整備する。

ア 母子保健ネットワーク会議

保健・医療等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議を行う。

回	期 日	場 所	出席者	内 容
1 回 目	平成26年 7月14日	野辺地町 健康増進セ ンター	医療機関：0名 市町村：保健師14名 管理栄養士1名 保健所：次長 健康増進課長 保健師3名 計20名	(1) 保健師活動に関する情報交換 ①妊産婦・未熟児情報共有システム報告 ②母子保健に関する事前アンケートに 基づき情報交換 1) ハイリスク妊産婦への対応、転出 入母子への対応について 2) 医療機関との連携について 3) その他情報交換したいこと

イ 平成26年度市町村開催会議への支援

会議名	期 日	テーマ	出席者
十和田市健康づくり推進協議会 母子保健部会	平成27年2月25日	「未成年者の実態から考える禁煙支援について」意見交換	母子担当
七戸町母子保健関係者ネットワーク 会議	平成27年1月29日	子どもの肥満について	母子担当 地区担当

(8) 産後うつ病の予防対策推進事業 —妊産婦支援体制整備事業—

乳児を抱える母親のメンタルヘルスに注意を向け、母親のメンタル面へのサポート体制を構築する。

また、母子保健サービスの中に「虐待予防」の視点を盛り込み、市町村母子保健関係者等の虐待予防に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

期 日	場 所	参加者数	内 容
平成26年 7月14日	野辺地町健康増進センター (母子保健ネットワーク会議に於いて)	医療機関 0名 市町村(保健師、管理栄養士) 15名 保健所 5名 計20名	ハイリスク妊産婦への対応、転出入母子への対応について、医療機関との連携について等意見交換した。

イ EPDS等(虐待例)妊産婦のカンファレンス

期 日	参 集 者	検 討 事 例
平成26年 8月11日	保健所保健師	EPDS 高得点者 (1件) その他の要支援者 (0件) 未熟児、EPDS 高得点ケースについて、市町村での情報共有や今後の支援体制について市町村保健師に確認した。保健所保健師で情報共有した。

※市町村でカンファレンスを実施するなど対応しており、保健所への相談件数は今年度減少した。

(9) 乳幼児の虐待予防に関すること

市町村からの要望に応じ、会議等へ参加した。

ア 市町村要保護児童対策協議会への出席

市町村名	代表者会議	出席者	備考
十和田市	平成26年6月23日	健康増進課長	
三沢市	平成26年10月29日	健康増進課長	
野辺地町	平成26年10月28日	健康増進課長	平成26年度から保健所が委員となる
七戸町	平成26年6月24日	健康増進課長	
六戸町	平成26年5月13日	健康増進課長	

市町村名	代表者会議	出席者	備考
横浜町	平成26年7月3日	健康増進課長	
東北町			実務者レベル会議を年に2回開催
六ヶ所村	平成26年11月13日	健康増進課長	

(10) 女性健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日：月1回（毎月第3火曜日） 受付時間：10:00～10:30

(イ) 場 所：上十三保健所 第1相談室

(ウ) 担当者：保健師

相談件数	来所相談 実人員 3名 (延3件) 〈内訳〉 定 期 0名 (延0件) 随 時 3名 (延3件) 電話相談 実人員 4名 (延4件)	
相談内容	思春期女子の健康相談 不妊に関する相談 婦人科疾患、更年期障害に関する相談 メンタルケア その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談	0件 3件 1件 0件 3件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請者 95名 (延162件)

(イ) 不妊専門相談センター利用者 2名

(11) 上十三保健所母子保健関係職員研修会

期 日	場 所	出席者	内 容
平成26年 7月14日	野辺地町健康 増進センター	市町村保健師15名 保健所 5名 計 20名	1 母子保健活動に関する情報交換 2 講演 テーマ：「乳幼児期の聴覚健診について」 講 師：弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座講師 南場 淳司氏

3 歯科保健事業関係

(1) 親と子のよい歯のコンクール実施状況

青森県歯科医師会と共催事業。健康な歯をもつ母と子を表彰し、幼児や父母及び地域社会の歯科保健への関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施した。

平成25年度から「母と子」から「親と子のよい歯のコンクール」に名称変更

平成26年度から対象が「母と子」から「親と子」に変更

期 日	平成26年6月7日(土) 13:00~15:00
場 所	十和田市イオンスーパーセンター十和田店
対 象	122組 受診者:17組
講 評	上十三歯科医師会長 黒田 雅仁氏

審査の結果:最優秀賞:六戸町の親子 優秀賞:十和田市の親子2組

(2) 上十三地域歯科フォーラム

上十三歯科医師会事業への共催

期 日	平成26年11月22日(土) 14:00~17:00
場 所	十和田市民文化センター
出席者	約300人
内 容	講演 『“弁当の日”がやってきた』 講師 株式会社オフィス弁当の日 竹下和男氏

(3) 「8020運動推進特別事業」(歯科保健事業)

平成26年度上十三保健所食育推進事業「野菜料理を“+1品”」運動

事業区分 地域における食育推進に関する事業

事業内容 ①野菜の摂取に係るアンケート調査の実施

②野菜の摂取量増加をねらいとしたパンフレット等の作成及び活用

③アンケート結果を踏まえた出前講座の実施

4 栄養改善指導事業関係

(1) 給食施設栄養管理指導事業

喫食者の健康増進を図ることを目的に給食施設を巡回し、施設における栄養管理の把握及び改善指導等を実施した。また、給食施設の調理従事者のスキルアップを図るため、栄養士や調理師を対象に研修会を開催した。

ア 巡回指導

	特定給食施設		特定多数人に対して継続して食事を供給する施設				計		総計
			1回あたり50食以上提供する施設		1回あたり50食未満提供する施設				
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
巡回施設数	16	9	15	6	1	7	32	22	54
対象給食施設数	45	12	58	22	12	24	114	58	172

イ 研修会

期 日	場 所	対 象	参加者数	内 容
平成26年 6月24日	十和田市民 文化センター	給食施設の栄養士、調理師等	254人	「食中毒予防について」 上十三保健所 技師 黒田誉代 「施設の衛生管理について」 上十三保健所 生活衛生課長 磯嶋隆 「健康づくりについて」 －「肥満予防・喫煙防止・自殺予防」の 3つの取組－ 上十三保健所 技師 船渡めぐみ 上十三保健所 技師 柴田 早紀
平成26年 10月10日	六ヶ所村文化交 流プラザスワニー	給食施設の栄養士、調理師等	29人	「特定給食施設栄養管理報告書の作成等について」 上十三保健所 技師 船渡めぐみ

(2) 栄養表示、虚偽誇大表示に関する指導

健康増進法第31条、第32条の2に基づき、栄養成分及び健康の保持増進に係る表示について指導を実施した。

ア 栄養表示相談及び指導 : 12件

イ 虚偽・誇大表示相談及び指導 : 4件

(3) 食生活改善推進員の育成

管内食生活改善推進委員会の活動を支援し組織の育成を図った。

ア 役員会・会長会議等

会議名	場 所	回数	計
管内市町村会長会議	小川原湖青年の家	1回	5回
	天間林保健センター	1回	
	十和田市保健センター	1回	
	上十三保健所	2回	
三役員会	上十三保健所	2回	
監査会	上十三保健所	2回	

イ 総会・研修会

- ・日時：平成26年5月12日（月）10：30～14：00
- ・場所：星野リゾート青森屋「天平閣」（古牧温泉青森屋）

内 容	参加者数
【総会】 ・平成26年度事業報告及び決算報告 ・平成27年度事業計画及び予算案 【研修会】 ・講演 「生活習慣改善に向けた「健やか力」向上のために ～食生活改善推進員活動、健康教育サポーター活動の活性化～」 講師 弘前大学大学院医学研究科 地域がん疫学講座 松坂方士 氏 ・運動実技 「手軽にできる健康体操」指導者 山田トシ子	会員：53名 市町村：8名 保健所：3名

ウ 管内市町村食生活改善推進員数 (平成26年5月12日現在)

市町村名	会 員 数	市町村名	会 員 数
十和田市	189	六戸町	37
三沢市	117	横浜町	18
野辺地町	32	東北町	88
七戸町	41	六ヶ所村	37
		計	559名

(4) 市町村栄養改善業務支援事業

ア 市町村栄養改善業務支援事業会議及び研修会

管内市町村栄養改善業務関係者のスキルアップを目的に会議と研修会を開催した。

期 日	場 所	参加者数	内 容
平成26年 10月9日	十和田市 保健センター	7名	講義「青森県の栄養摂取状況について —県民健康栄養調査の結果から—」 報告「上十三保健所における食育の取組 —平成25年度「野菜料理を+1品運動」—」 【意見交換】 テーマ「野菜の摂取量増加にむけて、これからの取組を考える」
平成26年 10月21日	上十三保健所	11名	講話「健康づくり計画の推進と野菜摂取の必要性」 報告「上十三保健所における食育の取組 —平成25年度「野菜料理を+1品運動」—」 協議①食育の推進について ②平成26年度「野菜料理を+1品運動」アンケートの実施について

イ 市町村への支援

市町村名	期日	研修会等	対応者
十和田市	平成26年8月28日	食生活改善推進員会研修会講師	船渡技師
六戸町	平成26年9月19日	食生活改善推進員会研修会講師	船渡技師

(5) 外食栄養成分表示店定着促進事業

住民が外食等を利用する際に自分にあった適切なメニューを選択できるよう事業内容を見直し、平成27年3月からは、肥満予防や食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加を踏まえた食事を提供している飲食店等を認定し、県民の皆様の生活習慣病予防を図る「青森のおいしい健康応援店認定事業」として実施することとなった。

(6) 「野菜料理を“+1品”」運動(8020運動推進特別事業・食育推進事業)

住民が栄養バランスの良い適切な食習慣を身につけることができるよう、野菜の摂取に係る要因等について調べるとともに、前年度に実施したアンケート結果をまとめ野菜の摂取量増加に向けて普及啓発した。

ア 野菜の摂取に係るアンケート

学校給食センター 栄養職員と連携し、児童・生徒を対象に野菜の摂取に係るアンケートを実施、回収後集計分析した。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回収数：474件（小学生228件、中学生246件） ・野菜の摂取量（推定値）：小学生（5・6年）180g、中学生（2年）178g ・野菜摂取に対する意識：野菜をもっと食べたいと思う 小学生：58%、中学生 48% |
|--|

イ 普及啓発用の媒体作製

前年度に実施した野菜の摂取に係るアンケート結果を踏まえ、チラシを作成し毎月食育の日に合わせて掲示した。また、より広く健康教育等で活用できるよう、うちわやミニのぼり等の媒体を作製した。

ウ 出前講座の実施出前健康講座等の実施

野菜の摂取や栄養バランス等をテーマに、7回（延704人）出前講座を行った。

5 精神保健福祉関係

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市町村別・入院通院状況

(平成27年3月末)

医療区分 市町村名	総 数		入 院				通 院	その他
			小 計	措 入 置 院	医療保 護入院	その他		
十和田市	男	463	53		53		410	
	女	572	92		92		480	
	計	1,035	145		145		890	
三沢市	男	209	30		30		179	
	女	251	33		33		218	
	計	460	63		63		397	
野辺地町	男	78	15		15		63	
	女	119	23		23		96	
	計	197	38		38		159	
七戸町	男	108	26		26		82	
	女	129	26		26		103	
	計	237	52		52		185	
六戸町	男	70	13		13		57	
	女	66	8		8		58	
	計	136	21		21		115	
横浜町	男	29	7		7		22	
	女	34	4		4		30	
	計	63	11		11		52	
東北町	男	113	17		17		96	
	女	128	21		21		107	
	計	241	38		38		203	
六ヶ所村	男	43	9		9		34	
	女	55	9		9		46	
	計	98	18		18		80	
県 外	男	0	0		0		0	
	女	3	3		3		0	
	計	3	3		3		0	
合 計	男	1,113	170		170		943	
	女	1,357	219		219		1,138	
	計	2,470	389		389		2,081	

イ 精神障害者申請等処理状況

(平成26年度)

申請等別			指定医に よる診察 件数	措置	非措置	非措置者の状況	
申請	通報	計				入院	非入院
0	9	9	8	8	1	0	1

ウ 管内精神病院入院状況 (平成27年3月末)

医療機関名	精神総病床数	年度末現在入院患者数	年度末現在措置患者数
十和田市立中央病院	50	19	1
十和田済誠会病院	270	203	2
高松病院	239	232	0
三沢聖心会病院	140	97	0
計	699	551	3

エ 精神科救急医療システム利用状況 (平成26年度)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	不明	計
61	16	2	12	9	0	12	3	6	2	123

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数 (平成27年3月末)

	手帳所持者 総数	手帳所持者等級別内訳		
		1級	2級	3級
十和田市	609	198	309	102
三沢市	269	129	113	27
野辺地町	97	40	45	12
七戸町	118	42	61	15
六戸町	78	33	36	9
横浜町	34	15	17	2
東北町	133	46	65	22
六ヶ所村	58	26	27	5
計	1396	529	673	194

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況：年12回(第3水曜日)

嘱託医：十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長、高松病院副院長

ア 相談件数 (平成26年度)

	総件数	再掲		
		定期	随時	電話
実数	74	11	27	36
延数	113	12	34	67

イ 目的別利用状況（延べ数）

（平成26年度）

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	⑬ひきこもり	⑭その他	計
定期	7	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	12
随時	7	4	0	3	1	2	0	0	1	1	3	0	0	12	34

ウ 市町村別件数（延人数）

（平成26年度）

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	5	1	0	1	2	0	2	1	0	12
随時	18	4	1	1	4	0	1	0	5	34

（4） 訪問指導状況

（平成26年度）

事業区分	保健師（相談員含む）				その他の職員				合計			
	一般	職親事業	社会復帰	計	一般	職親事業	社会復帰	計	一般	職親事業	社会復帰	計
実人数	21	0	0	21	0	0	0	0	21	0	0	21
延人数	46	0	0	46	0	0	0	0	46	0	0	46

（5） 社会適応訓練事業（職親制度）実施状況

ア 管内登録協力事業所

平成26年度末現在総数	（新規登録数）	職種内訳
38ヶ所	0ヶ所	クリーニング業：3、食品製造販売業：6、小売業：4、畜産業：1、医療業：1、飲食業：6、農業：4、福祉関係：7、その他：6

イ 平成26年度実施状況

利用事業所	訓練者（うち新規）	訓練者の転帰
0ヶ所	0名（0名）	
関係機関との連絡状況	協力事業所訪問	
	0回	

(6) 普及啓発活動

平成26年度は、「明日を生きる力アップ事業」をとおして「心の健康づくり事業」、「地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業」を行い、市町村及び関係機関と協働し、普及啓発を行った。

ア 明日を生きる力アップ事業

(ア) 語り合いの機会づくり

事業名 期 日	場所	対象者	開 催 内 容	参加者数
おしゃべりガレージ in 上十三保健所 平成 26 年 9 月 6 日 (土)	上十三 保健所	十和田市秋 まつりに参 加した管内 地域住民	創作活動（ビーズのストラップ、爪楊枝でつくる花瓶、押し花のしおり作成）の実施、自殺統計等の展示物説明、メンタルヘルスセルフチェック、健康相談「明日のあなたへのメッセージ」記入、のぼり旗の設置、バルーン及びリーフレット等の配布。	239名
管内精神保健福祉 ボランティア団体 連絡会 (傾聴ボランティア 交流会と併催) 平成 26 年 10 月 29 日 (水)	十和田 市保健 センター 会議 室	十和田市内 のボランテ ィアグルー プ7団体	交流会、研修会。 自殺の現状、こころの相談窓口の周知、ボランティア間の連携の必要性等について説明。	37名

(イ) 自殺予防キャンペーンの実施

期 日 場 所	参加者数	「こころの健康度自己評価」			内 容
		実施者数	実施結果		
			相談窓口紹介	保健師連絡	
平成 26 年 11 月 22 日 (土) 三沢市総合社会福祉 センター	145名	65名	28名	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・のぼり旗の設置 ・自殺統計のポスター掲示 ・バルーン、リーフレット等の配布 ・「こころの健康度自己評価票」(希望者)の実施 ・自殺に関する意識調査の実施
平成 26 年 10 月 25 日 (土) 平成 26 年 10 月 26 日 (日) 七戸町ふれあいセンター	600名	174名	55名	1名	
平成 26 年 11 月 1 日 (土) 平成 26 年 11 月 2 日 (日) 六戸町総合体育館	900名	264名	97名		
平成 26 年 11 月 1 日 (土) 平成 26 年 11 月 2 日 (日) 上北保健福祉センター	600名	214名	63名		
平成 26 年 10 月 31 日 (土) 六ヶ所村文化交流プラザ 「スワニー」	300名	100名	34名		
計	2,545名	817名	277名	3名	

(ウ) 出前健康講座の実施

管内の従業員50人未満の事業所等に対して、保健所職員が講師となり、「職場のメンタルヘルスと生活習慣病予防」をテーマに実施した。17団体1,144名に講座を実施した。

(エ) 自殺ハイリスク者への支援

a 救急告示病院における自殺未遂者対応調査

再度の自殺企図を防ぐため、管内6箇所の救急告示病院を対象に調査票による自記式調査及び聞き取り調査を行い、自殺未遂者への対応状況や精神科医療機関との連携状況等の実態を把握した。

b 上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議の開催

(8) 会議等及び研修 イ 関係者連絡会議参照

イ 青森多重債務被害等をなくす会（青森りんごの会）との協働事業

打合せ会議へ2回出席

公開講座 平成26年8月24日開催 54名出席

ウ その他

会議、研修会、病院立ち入り等に相談窓口一覧（1,774部）、うつ病のパンフレット（2,974部）を配布

(7) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの育成支援を行った。

ア 精神障害者家族会の状況

	家族会	活 動 内 容 等	作 業 所 等 運 営 (名 称)
家 族 会	とわだ家族会 (十和田市)	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・学習会 ・会員間の交流 ・作業所等の運営 ・当事者の会への協力 ・管内合同の学習・交流会の実施 	
	さつき家族会 (三沢市)		
	山ざくらの会 (六戸町)		
	つつじ家族会 (東北町)		つつじ作業所
家 族 懇 談 会	野辺地町精神障害者家族懇談会		
	七戸町精神障害者家族懇談会 →平成26年度活動停止		
	横浜町精神障害者家族懇談会		

イ 精神障害者家族会の活動状況

名 称	回数	内 容
つつじ家族会	1	つつじ作業所運営委員会に出席
上十三地区 精神障害者 家族学習交流会	3	<p>・平成26年度事務局は、つつじの会（東北町）が担当</p> <p>○実行委員会 2回</p> <p>○家族学習交流会 1回</p> <p>日時：平成26年10月7日 10:00～15:00</p> <p>場所：東北町保健福祉センター</p> <p>参加者：50名</p> <p>テーマ：「つくろう、皆で笑顔の輪を」</p> <p>内容：①音楽レクリエーション「音楽の力で心に元気を」</p> <p>②情報交換会</p> <p>③ビンゴゲーム（家族、当事者のみ）</p> <p>○平成27年度は十和田市とわだ家族会が中心となって交流会の企画・運営を行う。</p>

ウ 回復者クラブの活動状況

名 称	きざきのクラブ（三沢）
開催回数	年13回
会員数	5名

エ 精神保健福祉ボランティアの活動状況

名 称	会員数	活動内容
駒の会 (十和田市)	10名	<p>○自主的な活動を継続している。</p> <p>・定例会の実施</p> <p>・「サロンおあしす」の実施</p> <p>・心のひろば「ルピナス」へ参加</p> <p>※平成10年4月に看護ボランティアとして組織化。</p> <p>平成15年4月から精神保健福祉ボランティアとして登録。</p>
さつき友の会 (三沢市)	12名	<p>○自主的な活動を継続している。</p> <p>・「サロンひだまり」の実施</p> <p>・きざきのクラブ（回復者クラブ）の活動協力</p> <p>・青森県精神保健福祉ボランティア連絡協議会活動等</p> <p>※平成14年4月に組織化</p>

オ 民間団体

名 称	内 容
特定非営利活動法人ワークハウスとわだ	十和田市や医療機関等関係機関と連携し、自主的な活動を行っている。

(8) 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議（所内）

期 日	開催内容	出席者
平成 26 年 5 月 14 日	平成 2 6 年度精神保健福祉事業活動計画	保健総室長、次長、健康増進課長、精神保健福祉担当保健師及び事務担当者、健康増進課員
平成 27 年 2 月 23 日	平成 2 6 年度精神保健福祉事業活動評価	

イ 関係者連絡会議

会議名	期 日	開催内容	出席者
精神障害者社会復帰支援協議会	平成 26 年 12 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議と併催 ・ 精神障害者社会適応訓練事業の実施状況及び今後の方向について説明 	35名出席 障害者就労支援事業所、職業安定所、特別支援学校、市町村担当者等
上十三地域精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成 27 年 2 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科救急医療システムの運営状況について報告し、円滑な運営に向けて協議 	32名出席 連絡調整委員会委員（上十三医師会、救急医療施設、警察署、消防本部、地域家族会）市町村担当者
上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議	平成 27 年 2 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自殺未遂者対応調査結果や地域の自殺未遂者に対する取組、自殺に関する意識調査結果について報告 ・ 平成 2 6 年度上十三保健所の自殺対策の取組について情報提供 	46名出席 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域保健医療福祉関係 9 機関（医師会、精神科医療機関、救急告示病院、地域活動支援センター、民生児童委員会、社会福祉協議会、市民ボランティア、市町村等） ・ 職域関係 4 機関（地域産業保健センター、弁護士会、警察署、消防本部）

ウ 市町村に対する支援

- ・ 東北町こころの健康づくり（自殺予防）対策協議会へ1回出席
- ・ 十和田市生涯健康づくり推進協議会 こころの健康づくり部会へ1回出席
- ・ 十和田市セーフコミュニティ領域別部会（自殺対策部会）へ2回、現地審査へ1回出席

エ ケース会議等

措置入院患者が退院後も地域で治療を継続できるよう精神科医療機関に依頼し、ケース会議を開催した。

会議名	場 所	回数	備 考
精神障害者ケース検討会	十和田市立中央病院	7	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、関係者が退院後の治療の継続や生活支援について検討 ・関係者が処遇困難ケースの支援について検討 (心身喪失者等医療観察法に係わるケア会議を含む)
	十和田済誠会病院	1	
	青南病院	2	
	野辺地警察署	1	
	野辺地町健康増進センター	1	
	東北町保健福祉センター	1	
	上十三保健所	3	
	対象者宅	1	

6 難病関係

(1) 新たな難病の医療費助成制度

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が定める疾病（指定難病）に対して、一定の認定基準を満たしている方を対象に、その治療に係る医療費の一部を助成し、医療費の負担軽減を図ることを目的とした制度である。

平成26年5月30日に「難病の患者に対する医療費等に関する法律」が公布され、平成27年1月1日から対象疾病が制度改正前の56疾病から110疾病に拡大された。

制度改正前に特定疾患治療研究事業で対象とされてきた特定疾患のうち、新制度の対象となる指定難病以外の方については、継続して特定疾患治療研究事業の助成対象となり、当管内では1名の対象者がいる。

ア 特定医療受給者の状況（市町村別）

（平成27年3月末）

疾患番号	疾患名	市町村								
		管内計	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
合計		1,215	450	243	116	112	68	37	130	59
1	球脊髄性筋委縮症	1	1	0	0	0	0	1	0	0
2	筋委縮性側索硬化症	10	4	2	2	0	0	0	2	0
5	進行性核上性麻痺	11	3	3	2	0	2	1	0	0
6	パーキンソン病	159	61	29	14	11	8	7	21	8
7	大脳皮質基底核変性症	4	0	2	0	2	0	0	0	0
11	重症筋無力症	26	12	8	1	1	3	0	0	1
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	22	4	9	3	3	1	1	1	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	8	4	1	2	0	0	0	0	1
17	多系統委縮症	12	1	5	2	0	1	1	2	0
18	脊髄小脳変性症（多系統委縮症を除く。）	181	98	23	13	23	6	2	14	2
19	ライゾゾーム病	1	0	0	1	0	0	0	0	0
21	ミトコンドリア病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
22	もやもや病	17	5	2	3	1	1	3	1	1
28	全身性アミロイドーシス	2	1	0	0	0	0	0	1	0
34	神経線維腫症	4	1	0	0	0	0	0	2	1
35	天疱瘡	11	3	1	1	3	1	0	1	1
37	膿疱性乾癬（汎発型）	5	2	1	1	0	0	0	1	0
40	高安動脈炎	11	1	5	0	1	2	0	1	1
42	結節性多発動脈炎	2	0	0	0	0	0	0	1	1
43	顕微鏡的多発血管炎	6	2	3	0	0	0	1	0	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	1	0	0	0	0	0	0	0

疾患番号	疾患名	管内計	市町村							
			十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
46	悪性関節リウマチ	8	3	1	1	1	0	2	0	0
47	バージャー病	12	2	5	2	0	1	0	0	2
49	全身性エリテマトーデス	73	23	15	4	7	8	4	2	10
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	12	3	3	1	3	0	0	2	0
51	全身性強皮症	16	3	4	2	3	2	1	1	0
52	混合性結合組織病	18	9	2	2	1	1	0	1	2
56	ベーチェット病	26	8	5	6	1	1	0	5	0
57	突発性拡張型心筋症	17	12	3	0	0	0	0	1	1
58	肥大型心筋症	7	6	0	0	1		0	0	0
60	再生不良性貧血	13	3	0	1	4	1	2	2	0
63	突発性血小板減少性紫斑病	39	13	14	2	3	2	0	5	0
65	原発性免疫不全症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
68	黄色靱帯骨化症	4	1	0	1	1	0	1	0	0
69	後縦靱帯骨化症	70	26	16	5	2	5	3	8	5
70	広範脊椎管狭窄症	7	1	1	0	1	0	0	3	1
71	突発性大腿骨頭壊死症	37	16	3	3	7	1	1	4	2
72	下垂体性ADH分泌異常症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	6	3	1	0	1	0	0	1	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌症候群	1	1	0	0	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	6	4	0	1	0	0	0	1	0
78	下垂体前葉機能低下症	17	4	5	2	1	1	0	4	0
84	サルコイドーシス	25	12	2	4	2	0	1	3	1
85	突発性間質性肺炎	6	1	2	2	0	0	0	0	1
86	肺動脈性肺高血圧症	5	1	1	3	0	0	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	0	0	0	0	1	0	0	0
90	網膜色素変性症	18	4	7	0	2	1	0	2	2
91	バッド・ギアリ症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
93	原発性胆汁性肝硬変	29	10	7	6	2	2	0	2	0
96	クローン病	59	14	16	4	8	6	2	4	5
97	潰瘍性大腸炎	185	63	34	17	16	10	4	31	10

イ 特定医療受給者の状況（年齢別）

（平成27年3月末）

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～70歳以上
合計			1,215	4	23	51	116	142	169	274	436
1	球脊髄性筋委縮症		1	0	0	0	0	0	1	0	0
2	筋委縮性側索硬化症		10	0	0	0	1	0	1	5	3
5	進行性核上性麻痺		11	0	0	0	0	0	1	1	9
6	パーキンソン病		159	0	0	0	0	1	7	32	119
7	大脳皮質基底核変性症		4	0	0	0	0	0	0	0	4
11	重症筋無力症		26	0	1	2	1	3	5	7	7
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎		22	0	1	0	7	5	3	3	3
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー		8	0	0	0	0	3	0	3	2
17	多系統委縮症		12	0	0	0	0	0	2	4	6
18	脊髄小脳変性症（多系統委縮症を除く。）		181	0	0	2	0	3	11	56	109
19	ライソゾーム病		1	0	0	0	1	0	0	0	0
21	ミトコンドリア病		1	0	0	0	0	0	0	1	0
22	もやもや病		17	1	0	2	6	1	5	2	0
28	全身性アミロイドーシス		2	0	0	0	0	1	1	0	0
34	神経線維腫症		4	0	0	0	1	1	2	0	0
35	天疱瘡		11	0	0	1	0	0	2	4	4
37	膿疱性乾癬（汎発型）		5	0	1	0	0	2	0	1	1
40	高安動脈炎		11	0	0	1	3	0	2	3	2
42	結節性多発動脈炎		2	0	0	0	1	1	0	0	0
43	顕微鏡的多発血管炎		6	0	0	0	1	0	0	1	4
44	多発血管炎性肉芽腫症		1	0	0	0	0	1	0	0	0
46	悪性関節リウマチ		8	0	0	0	1	3	0	1	3
47	バージャー病		12	0	0	0	1	3	5	3	0
49	全身性エリテマトーデス		73	1	2	9	11	14	16	14	6
50	皮膚筋炎／多発性筋炎		12	0	0	1	1	0	2	3	5
51	全身性強皮症		16	0	0	0	0	3	6	2	5
52	混合性結合組織病		18	0	0	0	1	7	4	5	1
56	ベーチェット病		26	0	2	0	6	3	4	6	5
57	突発性拡張型心筋症		17	0	0	0	0	2	2	7	6
58	肥大型心筋症		7	0	0	1	0	1	2	2	1
60	再生不良性貧血		13	0	0	0	1	1	1	4	6
63	突発性血小板減少性紫斑病		39	2	0	4	3	4	7	7	12
65	原発性免疫不全症候群		1	0	0	0	0	1	0	0	0
68	黄色靱帯骨化症		4	0	0	0	0	1	1	2	0

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				～ 9 歳	～ 19 歳	～ 29 歳	～ 39 歳	～ 49 歳	～ 59 歳	～ 69 歳	～ 70 歳 以上
69	後縦靭帯骨化症		70	0	0	0	3	5	10	18	34
70	広範脊椎管狭窄症		7	0	0	0	1	0	0	2	4
71	突発性大腿骨頭壊死症		37	0	1	0	7	6	10	8	5
72	下垂体性ADH分泌異常症		1	0	0	0	0	0	0	0	1
74	下垂体性PRL分泌亢進症		6	0	0	0	3	2	1	0	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌症候群		1	0	0	0	1	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症		6	0	0	0	1	0	1	2	2
78	下垂体前葉機能低下症		17	0	2	4	1	2	3	0	5
84	サルコイドーシス		25	0	0	2	4	4	5	6	4
85	突発性間質性肺炎		6	0	0	0	0	0	0	3	3
86	肺動脈性肺高血圧症		5	0	0	1	0	1	1	0	2
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症		1	0	0	0	0	0	0	0	1
90	網膜色素変性症		18	0	0	0	1	0	1	4	12
91	バッド・ギアリ症候群		1	0	1	0	0	0	0	0	0
93	原発性胆汁性肝硬変		29	0	0	0	0	0	4	11	14
96	クローン病		59	8	8	7	16	13	8	6	1
97	潰瘍性大腸炎		185	0	4	14	31	44	32	35	25

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

目的：難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。

ア 医療相談等

回	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成 26 年 10 月 20 日	十和田市 市民文化 センター	1 講話及び実技 「パーキンソン病患者が快適に日常生活を過ごすための機能訓練」 講師：上十三地域広域リハビリテーションセンター (十和田市立中央病院リハビリテーション科) 技師長 清水 涼子 氏 2 情報提供 「パーキンソン病友の会十和田ブロック 『たんぽぽの会』」の紹介	62 名 (患者 28 名 家族 24 名 関係者 2 名 保健所 8 名)

イ 訪問相談（難病患者等訪問相談員による訪問相談）

訪問 相談 件数	疾 患 群 別 内 訳											
	神経・筋疾患	代謝系疾患	皮膚・結合組織疾患	免疫系疾患	循環器系疾患	血液系疾患	骨・関節系疾患	内分泌系疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	腎・泌尿器系疾患	視覚系疾患
(10) 20	(9) 18	0	0	0	0	0	(1) 2	0	0	0	0	0

() 内は実数

(3) 保健師による訪問指導

訪問件数	疾 患 別 内 訳								
	3 重症筋無力症	4 全身性エリテマトーデス	8 筋萎縮性側索硬化症	16 脊髄小脳変性症	20 パーキンソン病関連疾患	22 後縦靭帯骨化症	26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	
	神経・筋系	免疫系	神経・筋系	神経・筋系	神経・筋系	骨・関節系	循環器系	神経・筋系	
(22) 29	(1) 1	(1) 2	(4) 7	(6) 7	(6) 6	(2) 2	(1) 2	(1) 2	

() 内は実数

(4) 在宅重症難病患者家族支援事業

ア 目的：在宅療養を行っている重症難病患者(人工呼吸器を装着した筋萎縮性側索硬化症の患者をいう。)を常時介護している家族が、社会的理由が生じた場合並びに休息をとる場合に看護人が家族に代わって介護することにより、家族の社会参加を促すとともに、ALS 患者の在宅療養の環境を整え、患者、家族の生活の質の維持向上を図ることを目的とする。

イ 利用回数：1ヶ月1回を限度とし、1回あたりの利用時間は、7時間とする。
ただし、対象者の状況により、1回あたりの利用時間を4時間とし、1ヶ月の利用回数を2回まで分割することができる。

ウ 管内利用者：1名

(5) 健康相談状況

面接及び電話による随時健康相談を実施している。また、新規及び継続の医療受給者証交付申請や変更等の手続きや受給者証交付時に、個別面接相談及び電話による相談等にも対応している。

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
611件	110件	2件

(平成27年3月末)

(6) 患者会の育成・自主活動支援

ア 特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」への支援

平成9年3月27日に患者会として発足し、平成18年度から、自立した患者会として活動を開始している。保健所は定例会での講話等で活動を支援している。また、特定疾患医療受給者証の新規交付者に対して、「みさわ・もみじの会」の紹介のリーフレットを配布し、会の活動紹介をしている。

イ パーキンソン友の会十和田ブロック「たんぼぼの会」の結成に向けた支援

医療相談での会の紹介を契機に、パーキンソン友の会十和田ブロック「たんぼぼの会」の設立に向けた準備や会運営等の相談に助言し、会則を作成し会が正式に発足した。新規交付者に会の連絡先等の紹介をして協力している。

ウ 十和田地区脊髄小脳変性症患者への支援

地区脊髄小脳変性症患者交流会等の相談に支援していく。

(7) 関係機関との連携、地域の療養環境整備等

ア 関係機関との連携について

- ・ 退院患者の地域医療の調整に、三沢市内に協力医療機関がある事を確認し情報提供できた。
- ・ 災害時要援護者の避難支援対策のため、同意の得られた重症認定特定疾患受給者情報を市町村に提供したが、ほとんど活用されていなかった。

イ 関係者への難病対策の周知について

- ・ 管内保健師連絡会において、「難病患者に対する医療等に関する法律」により対象疾患や医療費自己負担の認定・対象の変更等を情報提供した。

7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉ケアシステムを構築することが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実に向けた取り組みに関して支援を行っている。

(1) 包括ケアシステムに係る現地懇談会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 26 年 7 月 28 日	横浜町役場	横浜町の保健福祉の現状 情報提供 ・横浜町における保健・医療・福祉包括ケアシステムの全体的な取組状況 ・横浜町における保健師活動「横浜町喫煙防止対策の取組」～たばこの害から子どもを守るう～ 懇談	27名 青森県知事、健康福祉部長、上北地域県民局長、横浜町長他関係職員他

(2) 上十三地域橋渡しネットワーク委員会

本委員会は、医療機関の利用者が、退院して地域で生活する場合に退院調整や情報提供を行い地域で適切なサービスを受けられるように、また、地域で療養している方が医療機関に入院する場合にスムーズに移行できるように医療機関と地域を結ぶ橋渡しのためのネットワークを構築することを目的としている。平成 25 年度から十和田市立中央病院が事務局となり、委員会を開催。

平成 26 年度から三沢市立三沢病院が新たに委員として参加。

ア 委員 13 名

委員の所属は、十和田市立中央病院、十和田第一病院、公立野辺地病院、公立七戸病院、高松病院、六戸町国民健康保険病院、三沢市立三沢病院、居宅介護支援事業所えがお、十和田市高齢介護課包括支援センター、十和田市健康増進課、七戸町地域包括支援センター、上十三保健所

イ 会議出席状況

回数	期 日	場 所	内 容
1	平成 26 年 6 月 26 日 (水)	十和田市立中央病院 3 階会議室	今後のネットワーク委員会の取組と年間開催計画について協議。事例検討や情報交換を実施。
2	平成 27 年 2 月 26 日 (水)	十和田市立中央病院 3 階会議室	事例検討や情報交換を実施。

(3) 介護予防事業及び市町村支援 延べ 8 回

各市町村の包括ケア会議、ケアマネジメント会議等へ委員として出席し支援した。

8 地域保健支援のための総合的地域診断システム構築事業

総合的地域診断システム推進事業は、県及び各保健総室（保健所）における情報分析機能を強化するとともに、保健所関連業務に係る各種情報をデータベース化する過程を通して質的データの分析手法を確立するものである。

平成23年度は、総合的地域診断手法定着事業として実施。

平成24・25年度は、糖尿病に着目し糖尿病地域診断機能強化推進事業として実施。

平成26年度は、市町村等「健活」推進事業として実施。

(1) 市町村等「健活」推進支援事業

ア 健診等関連データ分析結果活用検討会（保健所主催）

期 日：平成27年3月13日（金）

場 所：上十三保健所二階会議室

参加者：管内全市町村から保健師、事務担当者17名 保健所職員7名

内 容：情報提供「管内の健診データ集計結果について」

事例紹介（野辺地町、東北町）

意見交換「健診データの活用について」

講演「地域診断とデータ活用」

講師 青森県健康福祉部保健医療政策推進監 大西基喜氏

イ ツールを用いた、健診データの集計及び分析

健診データ及びレセプトを管内市町村が集計したものを取りまとめ、がん・生活習慣病対策課へ提出した。

管内健診データ集計結果を、ツールを用いて分析し市町村へ情報提供をおこなった。

(2) 健やか力向上推進事業

県民一人ひとりが健康づくりに関する知識を高め、実践できる力、ヘルスリテラシー（健やか力）を身に着けるため、県民の行動変容に繋がるよう各ライフステージに関わる関係機関が連携・協働してエビデンスに基づく情報・資料を基に教材等を作成し、普及啓発活動を行うとともに、共通の情報を繰り返し県民に提供できるよう医師等の専門職や保健協力員等の地区組織団体を対象とした研修を行い、普及啓発活動の担い手（健康教育サポーター）を育成する。

ア 健康教育サポーター人材育成研修会（専門職種を対象とした研修会）への参加

期日：平成27年2月26日（木）

場所：青森国際ホテル

講師：健康福祉部がん対策推進監 斎藤和子氏

内容：「健やか力で健康あおもり」

イ 健康教育サポーター人材育成研修会の開催

1 期日：平成26年5月12日

場所：星野リゾート青森屋

対象：管内市町村食生活改善推進員会代表者及び関係職員

出席者 46名

講師：弘前大学大学院医学研究科 地域がん疫学講座 講師 松坂方士 氏

内容：生活習慣改善に向けた「健やか力」向上のために

2 期日：平成26年6月24日（火）

場所：十和田市民文化センター

対象：管内給食施設従事者

出席者 254名

講師：上十三保健所 船渡技師 柴田技師

内容：「肥満予防・喫煙防止・自殺予防」の3つの取組

3 期日：平成26年9月26日（金）

場所：三沢市公会堂

対象：管内市町村保健協力員及び関係職員

出席者 106名

講師：在宅保健師の会 新井山 洋子氏

内容：心を動かす健（検）診のススメ

9 人材育成

(1) 管理栄養士学生実習

大学名	実習期間	実習人数
青森県立保健大学 健康科学部栄養学科	平成26年6月16日～6月20日 5日間	4人
仙台白百合女子大学 人間学部健康栄養学科	平成26年6月16日～6月20日 5日間	1人

(2) 初任期・新任期保健師研修

26年3月に新たに策定された「青森県保健師活動指針」に基づき、行政に働く保健師の役割を意識付けするとともに、地域保健活動を展開するための基本的な意識及び技術を習得することを目的として、初任期保健師研修（採用1年目）と、新任期保健師研修（採用2～5年目）に区分し研修を実施した。

ア 対象者

初任期保健師：上十三保健所 1人

新任期保健師：十和田市2人、三沢市2人、野辺地町3人、六戸町2人、横浜町2人、六ヶ所村2人、上十三保健所4人(途中まで育休1人)

イ 実施状況

初任期保健師研修（4回）

回数	期 日	内 容	参加者数
1	平成26年 7月31日	担当業務の計画について、相談記録について (新任期保健師研修合同)	1人
2	平成26年 8月28日	「乳幼児の運動発達」(はまなす医療療育センター)	1人
3	平成25年 9月26日	精神社会復帰施設見学	1人
4	平成27年 2月13日	活動紹介、事業評価について、目標の振り返り (新任期保健師研修合同)	1人

新任期保健師研修（2回）

回数	期 日	内 容	参加者数
1	平成26年 7月31日	担当業務の計画について、相談記録について (初任期保健師研修合同)	16人
2	平成27年 2月13日	活動紹介、事業評価について、目標の振り返り (初任期保健師研修合同)	15人

(3) 新任等保健師育成支援

市町村の20歳代等の若手の保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援することとし、「地域全体を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることにより、地域保健活動を活性化することを目的とし実施した。

1) 実施市町村（青森県新任等保健師育成支援事業）

市町村名	対象		トレーナー保健師	実施日数 (評価会等含む)
三沢市	2年目	1人	畑山 政子氏	12日
六戸町	2年目	1人	田中 磐子氏	12日

2) 上十三保健所（青森県保健所保健師等育成支援事業）

トレーナー保健師名：太田 一子氏 実施日数：26日

(4) 保健師連絡会議

管内保健師の資質の向上と保健師間の情報の共有を図り、連携を強化して管内の保健活動を推進することを目的に開催した。

回数	期日	内 容	参加者数
1	平成26年 8月 8日	① 講話「最近の公衆衛生の動向」 上十三保健所長 宮川 隆美 ② 講話「青森県の保健師活動の現状と課題」 がん・生活習慣病対策課 課長代理 梅庭 牧子 ③ 保健師記録についての情報交換 ④ 各機関からの情報提供	市町村保健師22人 保健所保健師8人
2	平成26年 11月25日	① 研修伝達「全国保健師長会研修会」 上十三保健所 主査 三戸 波子 ② 演習「地域診断の取組について」 ③ 情報提供 ・難病に係る災害時要援護者名簿の活用状況について ・難病及び小児慢性特定疾病の新たな医療費制度について ・明日を生きる力アップ事業について ④ 段階別情報交換	市町村保健師21人 保健所保健師7人